

2018年5月11日  
日興アセットマネジメント株式会社



高金利先進国債券ファンド 2015-09(早期償還機能付)

愛称：**ダブルス 2015-09**

設定来の運用状況と今後の見通しについて

- 当ファンドは、信用力が高く、相対的に金利水準の高い先進国の債券に投資を行なうことで、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざします。
- 本資料では、設定来の運用状況や、今後の見通しなどについて、実質的な運用を行なう日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドからのコメントをご紹介しますので、ご一読いただければ幸いです。

設定来の運用実績

＜基準価額の推移＞

(2015年9月29日(設定日)～2018年4月27日)



＜設定来の分配金実績(1万口当たり、税引前)＞

2016年4月	2016年10月	2017年4月	2017年10月	2018年4月	設定来合計
50円	50円	50円	50円	50円	250円

- ※ 基準価額は税引前、信託報酬(年率1.3392%(税抜1.24%))控除後の1万口当たりの値です。
- ※ 分配金加算ベースとは、1万口当たり基準価額と設定来の1万口当たり収益分配金(税引前)累計額との合計額をさします。
- ※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

- 当資料は、日興アセットマネジメントが「高金利先進国債券ファンド 2015-09(早期償還機能付)／愛称:ダブルス 2015-09」の運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料です。
- 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

## 設定来の運用状況について（2018年4月末時点）

### 2016年秋にかけて、市場心理の悪化から円高が進行

当ファンドを取り巻く投資環境は、2016年秋にかけて、厳しい状況が続きました。主要先進国における歴史的な低金利環境の長期化を背景に、インカム収益の水準は一段と低下し、世界景気の減速懸念や原油価格の下落、英国のEU（欧州連合）離脱の選択などを受けて市場心理が悪化する場面が度々みられました。そうした中、主要通貨に対して円高が進行したことなどから、基準価額は軟調に推移しました。

### 米大統領選を契機とした急激な円安の後、各投資通貨はまちまちの動きに

2016年11月の米大統領選挙以降は、米国の景気拡大期待などから急激に円安が進行しました。しかし、欧米の政治リスクや地政学リスクの高まりなどを背景に、2017年初にかけては、再び市場心理の悪化が円高圧力となりました。その後は世界経済の拡大や欧米の政治リスク後退などから各投資通貨は概ね底堅い動きとなりましたが、米国における金融政策の引き締めペースが緩やかになるとの観測や、政権運営に対する先行き不透明感などから、アメリカドルは上値の重い展開となりました。

### 設定来、為替収益のマイナスがパフォーマンスの足枷に

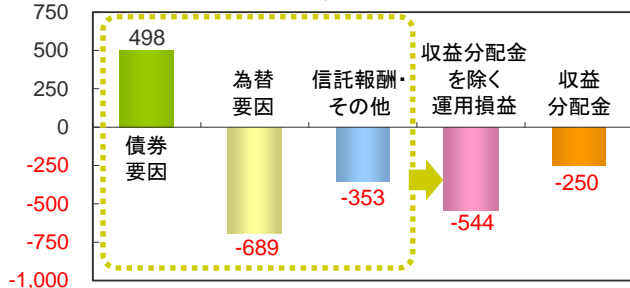
こうした中、当ファンドでは、相対的に高いインカム収益が基準価額を下支えたものの、アメリカドルやイギリスポンドの下落から為替収益がマイナスとなり、2018年4月末時点における運用損益もマイナスとなりました。

#### <基準価額の騰落>

設定時基準価額	10,000円
2018年4月末現在	9,206円
基準価額の騰落	-794円

#### <基準価額騰落の要因分解>

（2015年9月29日（設定日）～2018年4月末）

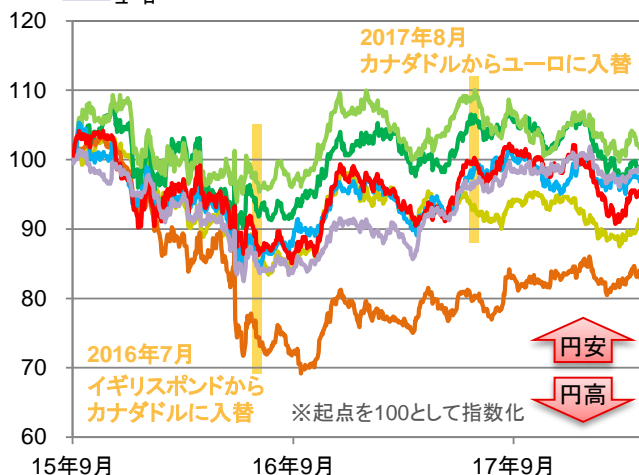
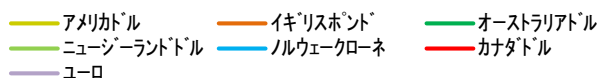


※ 基準価額〔信託報酬（年率1.3392%（税抜1.24%））控除後〕および収益分配金は、税引前、1万円当たりの値です。

※ 上記の要因分解は概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。また、四捨五入の関係で合計が一致しないことがあります。

#### <投資通貨\*（対円レート）の推移>

（2015年9月29日（設定日）～2018年4月30日）



\* 記載の期間に投資を行なった全ての通貨を掲載していますが、投資時期は各通貨によって異なります。信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

- 当資料は、日興アセットマネジメントが「高金利先進国債券ファンド 2015-09（早期償還機能付）／愛称：ダブルス 2015-09」の運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めるために作成した資料です。
- 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

## 投資環境に合わせた機動的な見直しと、今後の見通しについて

### ① 2016年7月：イギリスポンドからカナダドルへ投資通貨を入替

英国の国民投票でEU離脱が支持されたことを受け、同国経済の先行き懸念が増したことから、イギリスポンド建て債券を売却し、堅調な経済成長が期待されたカナダドル建て債券を組入れました。

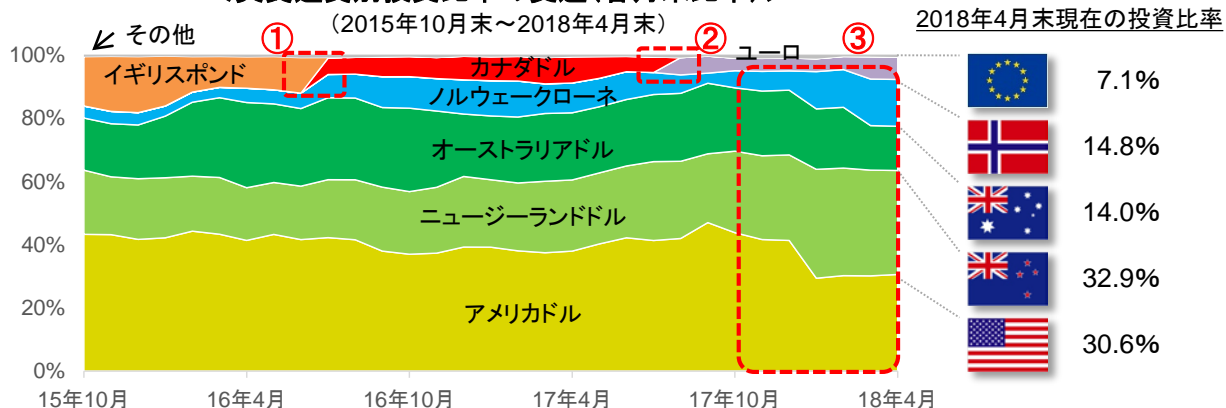
### ② 2017年8月：カナダドルからユーロへ投資通貨を入替

欧州の政治リスク後退や力強い経済成長、量的金融緩和の縮小観測などがユーロのサポート要因になるとみられたことから、通貨の軟調が予想されたカナダドル建て債券を売却し、ユーロ建て債券を組入れました。

### ③ 2017年10月以降：ニュージーランドドルおよびノルウェークローネの引き上げ

相対的に高い金利水準や堅調な経済が上昇圧力になるとみられるニュージーランドドル、および、堅調な原油価格や景気による下支えが期待されるノルウェークローネの投資魅力がより高まったと判断し、これら通貨の投資比率を引き上げ、アメリカドルの投資比率を引き下げました。

＜実質通貨別投資比率の変遷(各月末比率)＞



※ 当ファンドの対純資産総額の比率です。比率にはその他があるため100%とならないことがあります。

### 内外金利差の拡大による中長期的な円安の進行に期待

- 堅調な景気拡大を背景に、市場ではFRB(米連邦準備制度理事会)の利上げペースが速まるとの見方が台頭しています。また、2017年10月にはECB(欧州中央銀行)が量的緩和の縮小を決定するなど、主要先進国において相次いで金融政策の正常化が進みつつあります。しかし、いずれも性急な出口戦略が採られるとは想定しておらず、正常化は十分にコントロール可能なペースで進むとみています。
- 今年11月の中間選挙を見据え、トランプ米大統領が保護主義的な動きを強めるような場合には、米中貿易摩擦の激化などが短期的な円高圧力になる可能性が考えられます。しかし、日銀が引き続き緩和的な金融政策を維持する中、内外金利差は今後更に拡大するとみられ、中長期的には円安の進行が期待されます。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

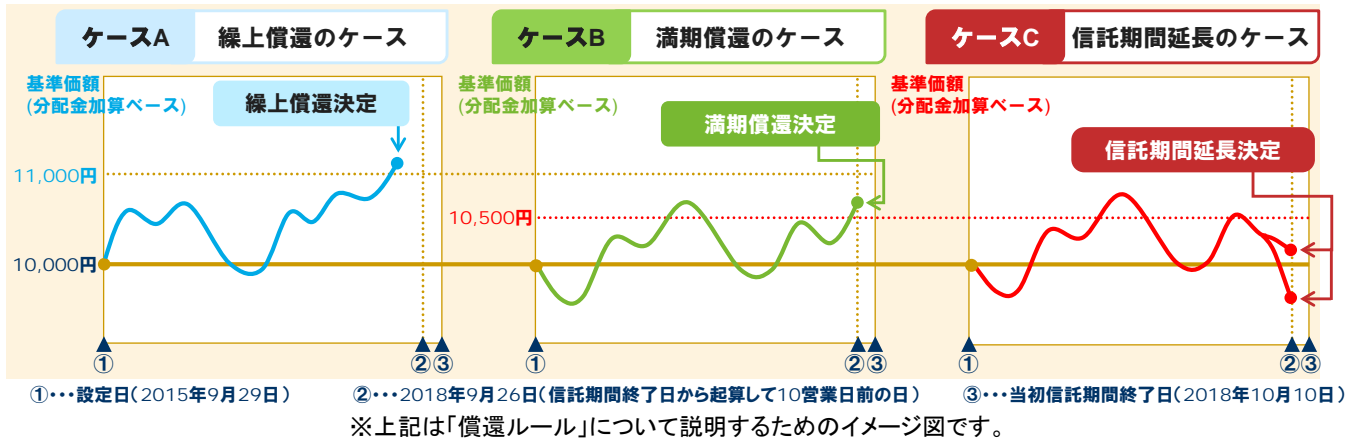
上記は、当ファンドの主要投資対象である「高金利先進国債券マザーファンド」の運用会社である日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の方の見方あるいは考え方等を記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

- 当資料は、日興アセットマネジメントが「高金利先進国債券ファンド 2015-09(早期償還機能付)／愛称：ダブルス 2015-09」の運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料です。
- 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。



## (ご参考) 償還ルール

- 基準価額(分配金加算ベース)が、2018年9月25日以前の営業日に11,000円以上となった場合には、マザーファンドの組入比率を引き下げ、短期公社債などによる安定運用に移行後、繰上償還します(ケースA)。
- 2018年9月26日(信託期間終了日から起算して10営業日前の日)の基準価額(分配金加算ベース)が10,500円以上の場合には満期償還(ケースB)、10,500円未満の場合には、信託期間延長となります(ケースC)。



※上記は「償還ルール」について説明するためのイメージ図です。

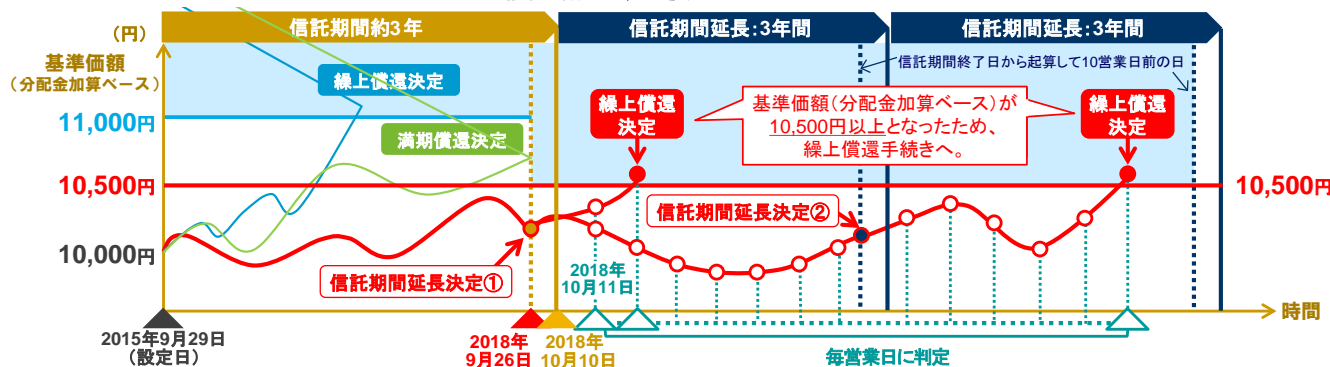
- ※ 基準価額(分配金加算ベース)の11,000円および10,500円は、あくまで繰上償還または満期償還の有無を判定するための水準であり、基準価額(分配金加算ベース)が11,000円または10,500円以上となることを示唆あるいは保証するものではありません。
- ※ 基準価額(分配金加算ベース)が2018年9月25日以前の営業日において11,000円以上となった場合には、安定運用に移行します。安定運用への移行後も繰上償還するまでは、基準価額は市況動向などの影響を受けるため、基準価額(分配金加算ベース)や1万円当たり償還額と設定来の1万円当たり収益分配金(税引前)累計額との合計額が11,000円を下回る場合があります。

## (ご参考) 信託期間延長(運用継続)と償還

- 当ファンドは、信託期間が約3年の投資信託です。ただし、2018年9月26日(信託期間終了日から起算して10営業日前の日)の基準価額(分配金加算ベース)が10,500円未満の場合には、信託期間が3年\*延長されます。
- 信託期間延長後は、2018年10月11日以降の毎営業日に判定を行ない、基準価額(分配金加算ベース)が10,500円以上となった場合には、繰上償還します。
- 信託期間延長後においても、信託期間終了日から起算して10営業日前の日の基準価額(分配金加算ベース)が10,500円未満の場合には、信託期間がさらに3年\*延長されます。それ以降も、同様の基準に基づいて信託期間延長の有無を判定します。

\*3年後の応当日が休業日の場合、翌営業日が信託期間終了日となります。

### <信託期間延長と償還までのイメージ>



- ※ 基準価額(分配金加算ベース)の11,000円および10,500円は、あくまで繰上償還または満期償還の有無を判定するための水準であり、基準価額(分配金加算ベース)が11,000円または10,500円以上となることを示唆あるいは保証するものではありません。
- ※ 基準価額(分配金加算ベース)が2018年9月25日以前の営業日において11,000円以上または2018年10月11日以降の営業日において10,500円以上となった場合には、安定運用に移行します。安定運用への移行後も繰上償還するまでは、基準価額は市況動向などの影響を受けるため、基準価額(分配金加算ベース)や1万円当たり償還額と設定来の1万円当たり収益分配金(税引前)累計額との合計額が11,000円または10,500円を下回る場合があります。

- 当資料は、日興アセットマネジメントが「高金利先進国債券ファンド 2015-09(早期償還機能付) / 愛称:ダブルス 2015-09」の運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料です。
- 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。